

近隣防災要員による震災初動体制

■地震が起こるのは圧倒的に業務時間外

地震が起こるのは、社員のいない業務時間外(夜間・休日)である確率が80%であるため、このときにいかに迅速に震災初動の体制が取れるかが重要になってきます。

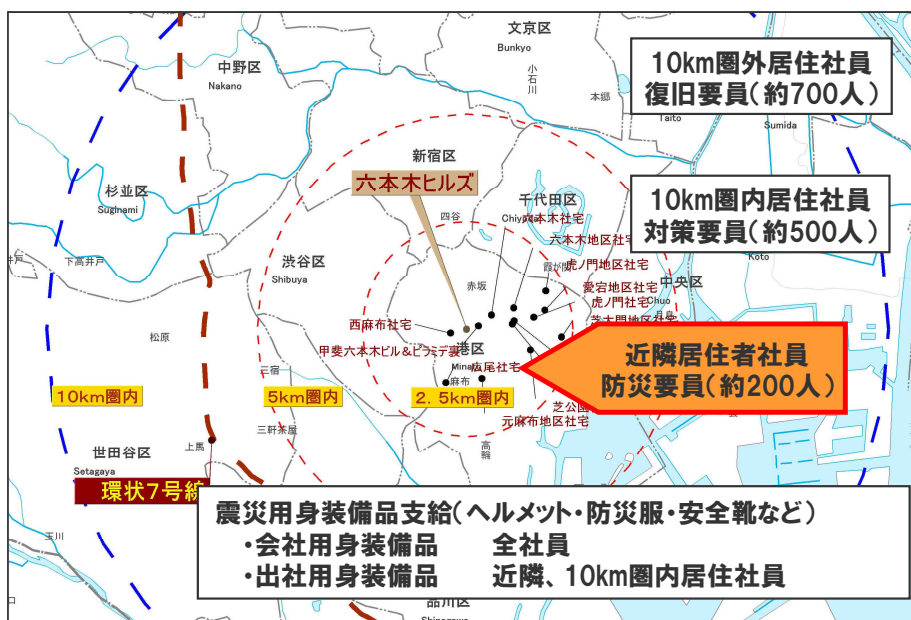
$$\text{業務時間}:\text{業務時間外(夜間・休日)} = 1(1,920\text{h}):4(6,840\text{h})$$

※平日9～17時で計算



■いざというときの初動体制を構築

森ビル株式会社では震災時に迅速な初動活動を行うため、管理職社員及び管理部社員による**365日宿直体制**を実施するとともに、事業エリアである**六本木ヒルズ近隣2.5km圏内に約200戸の防災社宅**を設け、その居住者を防災要員に位置づけ、いざというときに動ける“人づくり”という独自の震災対策に取り組んでおります。



■防災要員(社宅部員)の使命、震災初動活動

<使命> 地震発生後、直ちに担当現場に赴き、担当建物の情報収集に寄与すること。

<震災初動活動>

- ビルの情報収集(被害状況、居住者安否、本部への報告)
- 備蓄品等の配給
- 帰宅困難者対応
- 人命救助

■年8回の震災訓練(延べ23回)を実施

防災要員については、担当物件を決め、別途**年8回**の震災訓練を実施。

